

各常任委員会 行政視察報告

市政の課題や先進事例の調査を行うため、他自治体への行政視察を実施しました。以下のとおり研修内容を報告します。

経済文教常任委員会

10月3日(水)～4日(木)

10月3日 滋賀県近江八幡市
「※VR安土城について」

安土城は、近江八幡市西方安土山に約430年前の天正4年(1579年)に織田信長が5層7重の天守を創建した近世本格的城郭でしたが、天正10年(1582年)に本能寺の変で焼失しました。歴史・観光資産として「安土城の歴史」をVRの技術により再現していました。

委員の所見

タブレット型VR安土城と高精度シスター型VR安土城の2種類のシステムを展開し、タブレット型は市内12カ所にビューポイントを設定し、回遊しながら当時の安土城の姿に触れる機会を設けています。山城サミット佐野大会後の観光誘致の取り組みへの参考になりました。

10月4日 石川県小松市
「小・中学校学力向上の取り組みについて」

新学習指導要領から「確かな学力」の育成を目指し、「学力

向上へのアプローチ」を作成し、平成20年度の「全国学力・学習状況調査」石川県基礎学力調査から見える小松市の児童生徒の状況により、重点指導事項を洗い出して自校の教育課題の解決を図っていました。

委員の所見

新学習指導要領の方向性に従い、主体的な学びとして学ぶことに興味を持たせ、対話的な学びとして子ども同士の協同、教職員や地域の人との対話を通じて、深い学びとして習得・活用・研究という学びの知識を関連付け、教師のコーディネートにより授業の質を上げていました。



建設常任委員会

10月22日(月)～23日(火)

10月22日 滋賀県長浜市
「新庁舎及び黒壁を中心とした市街地活性化について」

長浜市では、黒壁を中心とした市街地活性化として行政と民間が一体となって街並みの整備、そして商店街の振興を展開し、その結果、遠方から沢山の方々が訪れるようになりました。本市においても、市街地の活性化は喫緊の課題であり、今回視察研修を行いました。

委員の所見

本市には佐野プレミアムアウトレット等があり、年間800万人を超える来訪者をいかにまちなかに呼び込むことができるかが課題であり、今後まちなかに呼び込むことができる施策等を考えていくことが必要であると思います。

10月23日 京都府舞鶴市
「まちなかにおける空き家対策、お試し住宅について」

舞鶴市では、移住定住施策として「この街から一度は離れて

も帰って来たいくなるまち、この街に魅かれ移り住みたくなるまち舞鶴」をコンセプトとして、空き家情報バンク制度・お試し住宅整備支援を行っており、本市の移住定住の活動のために研修を行いました。

委員の所見

舞鶴市を知ってもらうための取り組みとして、全国から集まった大学生100人が舞鶴市で地域の方々と交流しながら様々なミッションをクリアする「若者100人会議」を実施するなど、舞鶴市を知ってもらう働きなど素晴らしい取り組みを行っていました。



※VR (ブイアール) …virtual realityの略。コンピュータによって作り出された世界(仮想的な空間)を現実として知覚させる技術のこと。